

つちおと

8/23日

～ 「平成27年度夏季 復興支援インターン」が実施されました ～

南三陸町では8月23日から29日まで、気仙沼市では8月31日から9月5日まで、「復興支援インターン」が行われました。南三陸町では、(株)及善商店、(株)カネキ吉田商店、(株)行場商店、マルアラ(株)及川商店、(一社)南三陸町観光協会、(株)ヤマウチの6社に、気仙沼市では、(株)足利本店、(株)阿部長商店、(株)加和喜フーズ、(株)中華高橋水産、(株)八葉水産、(株)フジミツ岩商の6社に、それぞれ大学生を受け入れて頂きました。参加大学生は南三陸町が22人、気仙沼市が29人でした。

気仙沼クールでは、一日目に菅原市長の講話があり、気仙沼市の復興状況や今後の市としての方向性などについて話されました。二日目以降はそれぞれの職場で、社長/社員からの説明や交流、実際の職場体験(例えばメカブのパック詰めやカツオの箱詰めなど)が行われました。中には、商品開発や自社製品を使った新メニューの提案などの「宿題」をもらった学生グループも。作業終了後には、夜のミーティングでの振り返りがあり、そのうち1日は、気仙沼に1ターンし、自身も他県から学生を受け入れ、気仙沼ファンを増やす活動をしている若手2人と懇談する場が設けられました。気仙沼の良さや田舎で暮らすことの醍醐味などについて熱く語っていただき、学生にとってはいい刺激となったようです。

最終日には報告会が開かれ、今回のインターン体験を通じて何を感じたか、これをきっかけに今後何をやっていきたいかがグループごとに発表されました。水産加工工場では衛生管理がしっかりしていること、作業もただこなすだけではなく購入者を喜ばせたいという意識をもってやっているということ、社員の業務形態も融通が利き働きやすい環境であることなど、様々な感想や気づきが聞かれました。今後のアクションプランとしては、「サメの天むすメニューを学食に提案する」、「高校生に対してこの経験のプレゼンをする」、「田舎に泊まろう in 気仙沼やバスツアーを企画する」、「リベンジ商品開発を実施する」、「学園祭などでパネル展示や情報発信をする」、「ボランティア情報センターの設立を大学に働きかける」など、様々な計画が発表されました。

最終報告会に出席した菅沼副市長は、「参加した大学生たちの間で気づきが沢山あって良かった。またこれからも気仙沼に遊びに来てください」とメッセージを送られました。



◆残暑お見舞い申し上げます。今年の夏は、暑かったですが高校野球でも燃えました。

東北勢を応援していただけに、東北勢が勝ち進むたびに喜ぶことが出来ました。岩手代表、秋田代表にも勝った宮城代表・仙台育英が決勝に進出。東北勢初の優勝は、残念ながら持ちこしとなりましたが見事、準優勝!!

皆さんに感動、元気をあたえてくれたのではないかと思います。

台風18号等による記録的な豪雨などにより、多数の被害が出ました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。(檜)

～ 進む震災復興! ～

気仙沼市では、住まいの復興が目に見えてきました。防集事業による宅地造成が完成して自宅再建に移りつつある地区（8月末）を紹介いたします。



おおさわえ

・**大沢A地区**：市内防集最北に位置し三陸道（工事中）に隣接、平成27年3月引き渡し31区画中22戸建築、災害公営住宅（戸建26戸、長屋2戸）併設。



ただこし

・**只越地区**：国道45号に隣接し、平成27年3月引き渡し12区画中9戸建築、災害公営住宅11戸（戸建）併設。



もうねに

・**舞根2地区**：市内一番目に防集協議会を立ち上げる。平成27年3月引き渡し25区画中22戸建築、集会所（未着工）も併設。



まつぎまえばまきた

・**松崎前浜北地区**：気仙沼湾を望む高台に位置し、平成27年4月引き渡し6区画中4戸建築。集会所（未着工）も併設。



まつぎまえばまみなみ

・**松崎前浜南地区**：気仙沼湾を望む高台に位置し、平成27年4月引き渡し8区画中4戸建築。



おおやむかえやま

・**大谷向山地区**：本吉地域東端に位置し南に太平洋を望む。平成27年4月引き渡し10区画中10戸建築。

8/28^金

～南三陸杉デザイン塾オープンセミナー開催!～

8月28日(金)、南三陸杉デザイン塾オープンセミナーが開催されました。

本セミナーは、「山さ、ございん」プロジェクト実行委員会(佐藤久一郎委員長)の主催により、南三陸町で開催されました。実行委員会は、地元の林業経営者、大手広告会社株博報堂の連携した取り組みです。デザイン塾については、今年度の復興庁の新しい東北先導モデル事業の一環として実施されるものです。

デザイン塾は、9月下旬から11月下旬まで月2回程度、南三陸町内での実施が予定されています。地元の方々、宮城県内の方々などに、南三陸杉を使った家具や内装材などのデザイン力を学んでいただくことにより、南三陸材を情報発信し、その付加価値向



ロゴマーク



南三陸森林組合ホールで開催

上に取り組むものです。

今回のオープンセミナーでは、記念講演として、南三陸町志津川地区のグランドデザインを製作する隈研吾建築設計事務所より、国内各地で手がけられている杉をつかった建築デザインの紹介がありました。東京のビルの中にも柔らかい居間のような空間をつくり出せるなど、杉の魅力が語られました。

最後に株博報堂から南三陸杉ロゴマークの発表がありました。震災後姿が見えなくなっているイヌワシと、杉の関係、山と海のつながり、命のめぐる町が広い世界へと発信されるイメージが伝わってきます。

南三陸杉の魅力発信の大きな一歩になったものと思います。

8/19^水

～気仙沼の支援団体の活動：子どもの居場所づくり～

今回は、NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会が気仙沼で行っている支援活動を紹介します。8月19日には気仙沼市大谷地区で「ほしぞら食堂」が開催されました。参加者は子ども・大人合わせて20名ほど。星空の下でたき火を囲んでおしゃべりしたり、ベーゴマで遊んだり、思い思いの時間を過ごしました。このほしぞら食堂の開催はこれで4回目です。同団体が支援している子どもたちの中には「登校拒否状態にある」「家族とゆっくり食事をとったことがない」「いつもカップ麺ばかり」という子ども達がいることから、月に一度でいいから、家族や仲間と楽しい時間を過ごす機会をつくり、心も体も元気になってほしい、という想いから始め、普段の日は毎週4日間いつでも遊びに来られます。

同協会は、平成25年度に「新しい東北」先導モデル事業の受益団体ともなり、主に子どもの居場所・遊び場を作る活動を行ってきました。例えば、まだかさ上げの途中で公園などが不足している鹿折では、休耕田を活用して、地域の子も達やその家族がそこにあるものを使って遊ぶという活動をしています。プレーリーダーとの遊びを通じて、周りの山の枝や丸太を使ってテントや遊具を作ったり、お父さん達の助けも借りてツリーハウスのようなものまで作られます。こういった活動は、復興途中で遊び場が不足している被災地では、大人も慌ただしい心を落ち着かせ、子どもは自由豊かに遊べる貴重な機会を生み出しています。



ほしぞら食堂の様子



鹿折の遊び場

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【9月27日（日）】志津川湾タコまつり復興市 ～南三陸町～

南三陸志津川名産のタコをテーマにした復興市！タコを使ったメニューや飲食ブースが立ち並び、おなじみのタコのキャラクターオクトパス君グッズの販売もあります。ステージではジャズが演奏され、タコとジャズの不思議な時間が流れます。「タコ神輿」も登場の予定です！

◇開始日時 9:00～14:00（予定） ◇会場 さんさん商店街周辺（予定）
◇問い合わせ先 復興市実行委員会 090-7077-2550

【10月10日（土）・11日（日）】マリノパル女川おさかな市場 ほたて祭り ～女川町～

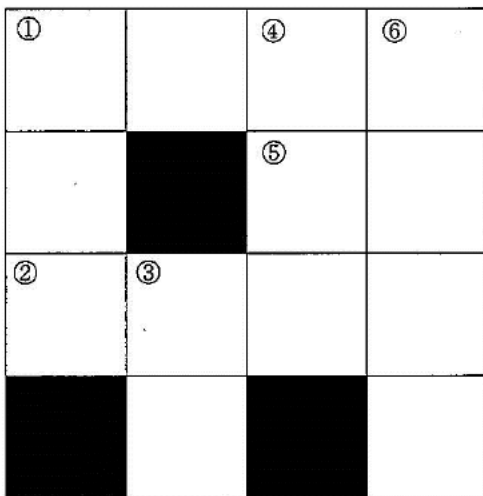
女川でその日に水揚げされた「活ほたて」が格安価格で販売されます！また、市場特製さんまのすり身汁の振舞いもお楽しみください！その他、生鮮魚介類・水産加工品の販売もあります。◇開催時間 10:00～15:00（両日とも）

◇会場 マリノパル女川おさかな市場 ◇問い合わせ先 マリノパル女川事業協同組合 0225-54-4714
詳細はこちらから ⇒ <http://www.miyagi-kankou.or.jp>（宮城県観光連盟）

【10月11日（日）】仮設商店街鹿折復幸マート一周年イベント ～気仙沼～

八幡太鼓、サンマ焼きの無料配布、カスタムカー展示、マート買い物でAKBのCD交換券配布など。
◇開催時間 10:00～16:00 ◇会場 鹿折復幸マート ◇問い合わせ先 0226-22-8639

クロスワードにチャレンジ！！



【ヨコのかぎ】

1. 秋の夜長は ○○○○の秋
2. 草木の葉が赤や黄色に変わる事。
5. 頭かくして○○隠さず。

【タテのかぎ】

1. 三陸の冬の味覚、○○○汁。鍋料理。
3. ○○の耳に念仏。
4. 歴史を記した書物。
6. 平安時代以後、記録所・御書所などに置かれた職員の名称。

【編集後記】

◆夏が終わり急に涼しくなり、日も急激に短くなりました。時間とともに復興も着実に進んでいるのを感じます。

（前号のクロスワードの回答）

	1	さん	2	ま
3	い	ど		ん
	ん		4	つぼ
5	ち	ん	つ	う



8月4日大森地内の臨港道路が供用開始され、国道45号と港湾とが結ばれ大型トラックなどの交通がスムーズになり、水産物等の流通が便利になりました！

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>